

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援事業所 ミラサーチ楽さん家		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 27日		～ 令和7年 2月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名 (29世帯)	(回答者数) 29名 (24世帯)
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 5日		～ 令和7年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	カード支援を徹底している。	児童の特性に応じたカードを使用したり、発達段階に応じ提示をしている。	・急な予定変更に対応できるよう、あえて吹き出し形式で予定を設定することを検討。 ・余暇を過ごすことが難しい児童への支援として、余暇活動をスケジュール化することを検討。
2	時間・場所設定が決まっている。	・遊びの部屋、勉強の部屋、静かに過ごす部屋があり、空間が仕切られている。 ・おもちゃ等必要に応じてタイマーを使用し、時間制にすることで使いたい児童が複数いても順番で使えるようにしています。 ・おもちゃの出しすぎを防ぐ(片付けがしやすい量)、貸し借り時のやり取りの練習も行えるよう、おもちゃの場所設定を行っている。	・同じタイマーを使用しているため、どの遊びが終了したか分かりにくい。児童のそばにタイマーがないため、終了の音が鳴って職員が児童に伝えに行っている。児童にも職員にも分かる時間提示の仕方を検討していく。
3	職員配置数が適切である。	・利用人数、児童の特性等に合わせて職員数の調整を行っています。	・支援や余暇の提供による職員のスキル向上を目指す。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者参観や保護者同士の交流の機会がない。	・事業所開催の際の駐車スペースの問題がある。 ・平日開催時の場合に参観の難しい家庭もある。	・駐車スペースのある場所(体育館や公民館等)での親子参加型のイベントの開催(土曜日)の検討。 ・平日、人数制限や時間制限での事業所内参観の検討。
2	地域交流の機会がない。	・地域のイベント等の情報収集ができていなかった。	・公民館や児童館などでの情報収集や行事参加の依頼、事業所紹介等を行ってほしいと思う。
3	年齢や児童の興味に沿った余暇アイテムが十分でない。	・余暇の広がりがないことで時間を上手に過ごせていない可能性がある。	・児童、保護者の思い(興味や身につけたいスキル)を取り入れた余暇提供の工夫を行う。 ・年齢や発達段階に応じた余暇アイテムはどんなものがあるのかを知れる機会を探す。